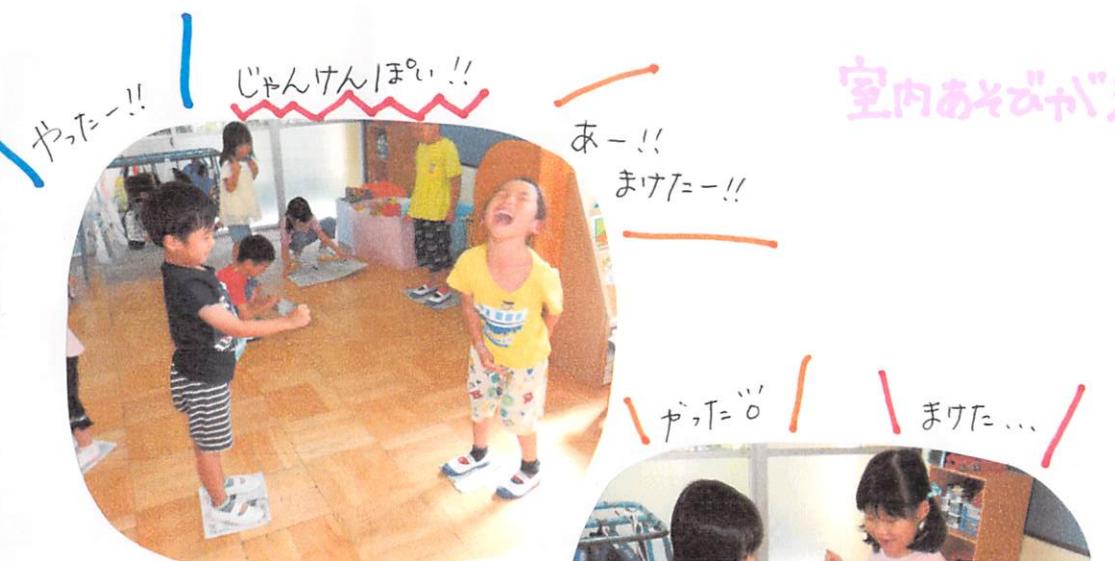


R6.9月.22. No1

室内遊びが充実



R6.9月. つま2. No2



室内遊びが充実してきての 子どもたちの姿を通して...

2学期に入り「室内遊び」は変化に伴い見られました。みんなで新聞紙を作、ゲームをしてソーシャルスキルで室内ゲームの時間を多く過ごしました。ゲームでより対決を楽しむ「競争」だけでなくお友だちを応援する姿や、お友だちにアドバイスするなど「自分のこと」「自分」ではなく「自然」とお友だちの方には目がいくようになります。だからこそその姿なので嬉しいです。

今ままでの室内遊びの姿は少しませんでした。「うわじまい」という姿が多かったり「すかべ」2学期に入り遊びの中には少し姿が見られました。日々をまたいで毎日かけ製作するなどの変化に伴い遊びも増えています。また室内遊びで増えたことで子ども同士の会話が増えたり、自分の遊びでは「競争」ではなくお友だちか「遊び」して「遊び」に興味を持った「入門者！」と参加する姿が見られました。このような姿から「これはどうしていいんだよ…?」など子どもたち自身で考え遊びを充実させようとしているのがわかります。感じました。

遊びが充実していくなかで、時には伝え難い難しさや、意見が合わないなど子どもたちの悩んでる姿をあくまで上手くいかないから諦めるとではなくどうしてうまくいかないのか楽しくあそべるかなど自然の遊びの中でを考えたりや相手を思ったりする気持ちが育まれてきていますを感じることがあります。子どもたちにとっては大切なお遊びの時間がよう充実する環境作りと今回振り返りまた今的孩子たちの感じの育ちを改めて見つけようと「キノコ」「10月から引き続き見守りたい」と思いました。